

ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）認知者の約4割が導入。過去最高の導入率に ZEH導入による毎月の光熱費削減の実感額は平均7,754円 ～2023年 注文住宅動向・トレンド調査～

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の住まい領域の調査研究機関であるSUUMOリサーチセンターは、全ての人の自分らしい人生を応援するため「住まいの価値」を提言・実証する研究を進めています。このたび、注文住宅の建築者・検討者を対象に調査を行いましたので、調査結果の一部を抜粋してご報告致します。

※その他の調査結果については下記リンクよりご覧ください。

https://www.recruit.co.jp/newsroom/pressrelease/assets/20231116_housing_02.pdf

調査トピックス

- 注文住宅建築者（全国）のZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）※認知率は79.5%。前年より2.1ポイント増加し、過去最高に。（P2）
- ZEH認知者のうち、導入を検討した人は69.0%、導入した人は39.2%でいずれも過去最高。特に導入率は前年比+13.9ポイントの大幅増。（P2）
- ZEH導入による毎月の光熱費削減の実感額は、平均7,754円。（P2）
- 2025年度省エネ基準適合義務化の認知率について、内容まで理解している検討者（全国）は15.5%。2030年度ZEH水準義務化の認知率について、内容まで理解している検討者（全国）は15.8%。（P3）
- 建築者（全国）が建築する際に重視した条件について、直近3年間での増加が多い順に、「太陽光発電を搭載すること」が5.1ポイント、「ZEHであること」が4.5ポイント、「断熱性・気密性に優れていること」が3.6ポイント増加。いずれの項目も過去最高となった。（P4）

※ZEH（ゼッチ）（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）とは「外壁や窓など外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支をおおむねゼロとすることを目指した住宅」です。

SUUMO編集長 兼 SUUMOリサーチセンター長の解説

ZEHの認知率は2014年の調査開始以来、過去最高となっており、今では注文住宅建築者の約8割が認知するまでに至りました。また、ZEH認知者のうち、過去最高となる約4割が建築時に実際にZEHを導入していることが分かりました。これは計算すると全体の約3割がZEHを導入していると考えられます。注文住宅建築時に「太陽光発電を搭載すること」、「ZEHであること」、「省エネルギー性に優れていること」といった省エネに関する条件を重視する人は増加しています。また、2025年度に新築時の省エネ基準適合義務化、遅くとも2030年度までに省エネ基準がZEH水準に引き上げられますが、これについても検討者の約15%が内容まで理解しており、省エネやZEHへの意識は徐々に上昇してきていると言えます。

なお、ZEH導入による毎月の光熱費削減の実感額は平均7,754円で、単純計算すると年間で9万円以上のコスト削減効果が期待されます。昨今のエネルギー価格高騰に伴い光熱費が上昇する状況下、経済的メリットが見込まれ、また快適性も増すことから、今後もZEHの導入率は伸びていくものと見ています。



リクルート
SUUMO編集長
SUUMOリサーチセンター
センター長 池本 洋一

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

1 ZEH導入検討状況／毎月の光熱費削減の実感額

- ・ 建築者（全国）のZEH認知率は79.5%。前年より2.1ポイント増加。
- ・ ZEH認知者のうち、導入を検討した人は69.0%、導入した人は39.2%でいずれも過去最高。特に導入率は前年比+13.9ポイントの大幅アップ。
- ・ ZEH導入による毎月の光熱費削減の実感額は、平均で7,754円。

■ ZEH認知状況 建築者（全国）

※認知計：「内容まで知っている」+「名前だけは知っている」

【単一回答】

	n =	■ 内容まで知っている	■ 名前だけは知っている	■ 名前も知らない	認知計
2023 建築者（全国）	(1,773)	32.6	46.9	20.5	79.5
2022 建築者（全国）	(1,856)	28.6	48.8	22.6	77.4
2021 建築者（全国）	(1,884)	26.8	46.1	27.1	72.9
2020 建築者（全国）	(1,884)	24.6	48.4	26.9	73.1
2019 建築者（全国）	(1,884)	24.5	45.9	29.6	70.4

(%)

■ ZEH認知者における導入検討状況 建築者（全国／ZEH認知者）

※導入検討計：「導入した」+「検討したがやめた」

【単一回答】

	n =	■ 導入した	■ 検討したがやめた	■ 全く検討していない	導入検討計
2023 建築者（全国）	(1,409)	39.2	29.8	31.0	69.0
2022 建築者（全国）	(1,436)	25.3	32.2	42.4	57.6
2021 建築者（全国）	(1,373)	26.2	32.4	41.5	58.5
2020 建築者（全国）	(1,377)	21.8	35.1	43.1	56.9
2019 建築者（全国）	(1,326)	20.6	36.6	42.8	57.2

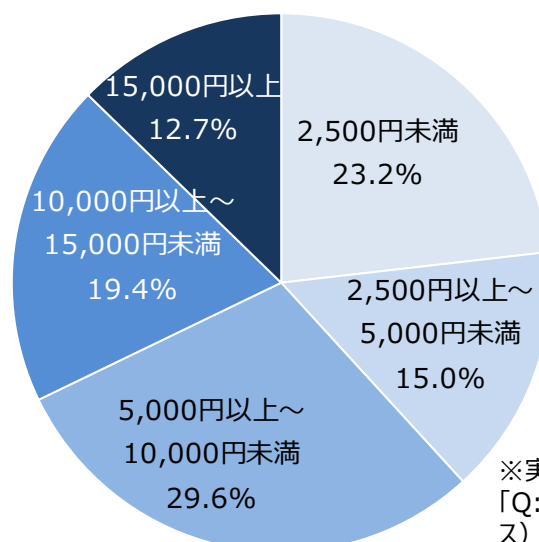
(%)

■ ZEH導入による毎月の光熱費削減の実感額

建築者（全国／ZEH導入者／0円回答者を除く）

【数値回答】

(n=487)



平均
7,754円/月

※実際の設問は以下の通り。
「Q:ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）に住んでみて、経済的なメリットがいくらありますか。金額（月額 ※税込）を教えてください。」

2 2030年度ZEH水準義務化の認知状況

- ・2025年度省エネ基準適合義務化*1の認知率について、内容まで理解している検討者（全国）は 15.5%。
- ・2030年度ZEH水準義務化*2の認知率について、内容まで理解している検討者（全国）は15.8%。

※【2025年度省エネ基準適合義務化*1】とは：

2025年度から、原則全ての新築住宅・住宅以外の建築物で、省エネ基準への適合が義務化されること。

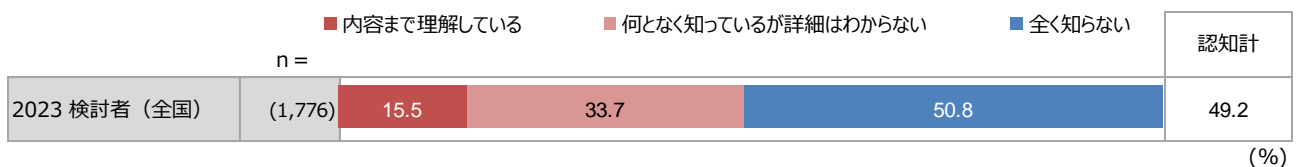
※【2030年度ZEH水準義務化*2】とは：

2025年度から義務化される省エネ基準が、遅くとも2030年までにZEH水準（2025年に義務化される基準よりも高断熱化かつエネルギー消費量を2割削減）に引き上げられること。

■ 2025年度省エネ基準適合義務化*1の認知状況 検討者（全国）

【単一回答】

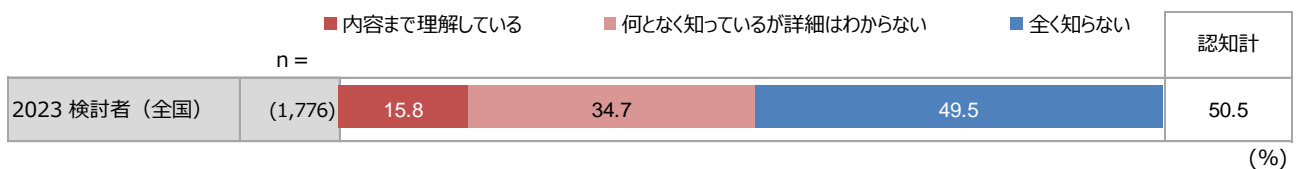
※認知計：「内容まで理解している」
+「何となく知っているが詳細はわからない」



■ 2030年度ZEH水準義務化*2の認知状況 検討者（全国）

【単一回答】

※認知計：「内容まで理解している」
+「何となく知っているが詳細はわからない」



*1：調査票での表記は「2025年新築建築物省エネ基準義務化」

*2：調査票での表記は「2030年度ZEH基準義務化」

3 建築する際に重視した条件

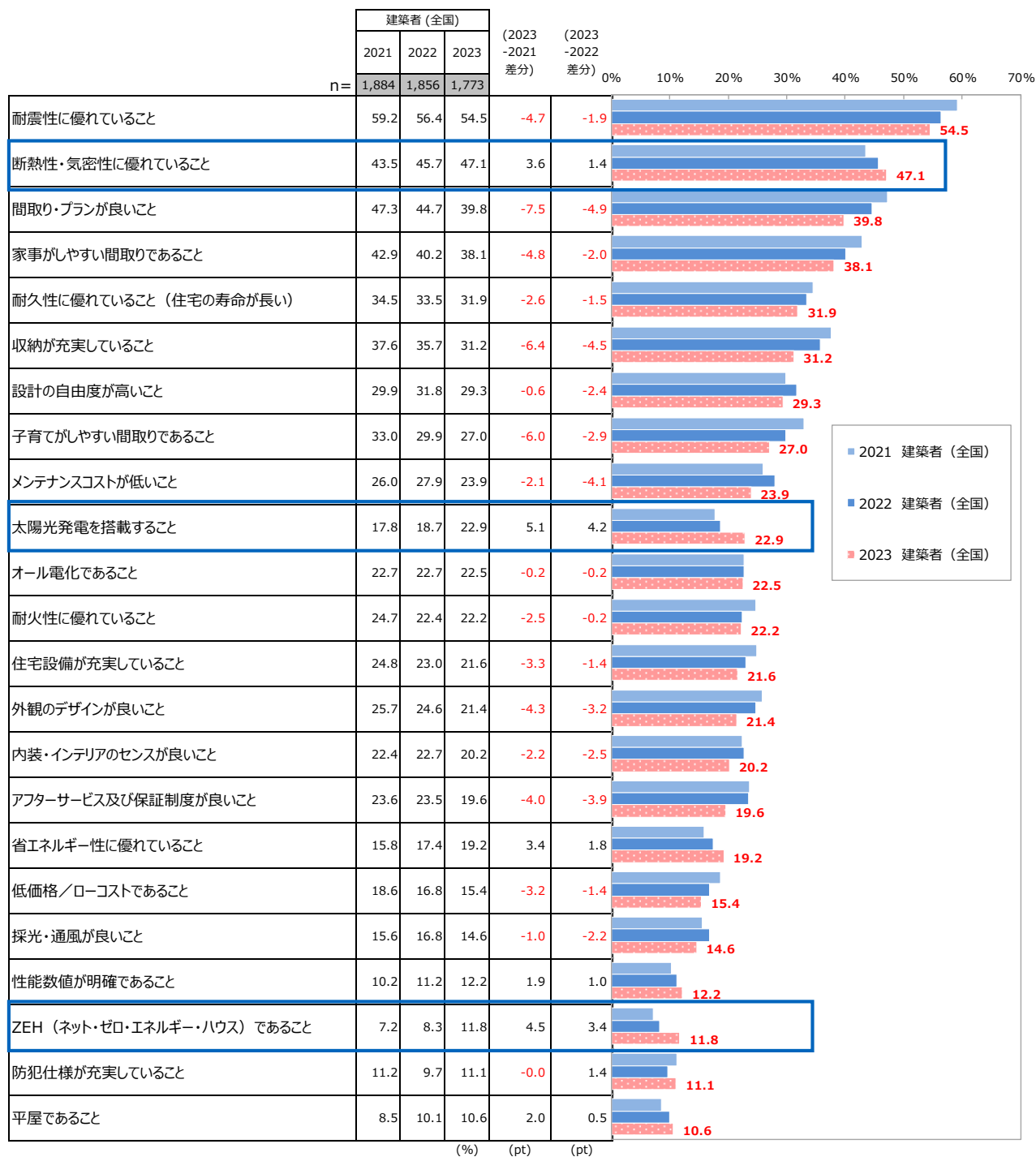
・ 建築者（全国）では、直近3年間で増加が多い順に、「太陽光発電を搭載すること」を重視した人が5.1ポイント、「ZEHであること」が4.5ポイント、「断熱性・気密性に優れていること」が3.6ポイント増加。いずれも過去最高。

■ 建築する際に重視した条件 建築者（全国）

【複数回答】

※「2023 建築者（全国）」のスコアが10%以上の項目を抜粋して掲載

※「2023 建築者（全国）」で降順ソート



調査概要

- 調査対象 下記条件を満たすマクロミルモニターかつ20歳以上の男女個人
【建築者】 1年以内に一戸建て（新築・建て替え注文住宅）を建築（竣工ベース）した人
【検討者】 今後2年以内に一戸建て（新築・建て替え注文住宅）の建築を検討している人
* 上記いずれも本人または家族が下記職業の人を除外
住宅メーカーまたは販売、不動産・建設関連、広告代理店・市場調査関連
- 調査地域 全国
- 調査方法 インターネットリサーチ
- 調査期間
 - 2023年 スクリーニング調査・本調査：2023年7月28日（金）～8月8日（火）
 - 2022年 スクリーニング調査・本調査：2022年7月29日（金）～8月8日（月）
 - 2021年 スクリーニング調査・本調査：2021年7月30日（金）～8月11日（水）
 - 2020年 スクリーニング調査・本調査：2020年7月31日（金）～8月11日（火）
 - 2019年 スクリーニング調査・本調査：2019年7月31日（水）～8月9日（金）
- スクリーニング調査対象・本調査有効回答数
 - 2023年 スクリーニング：295,703サンプル 本調査：3,549サンプル（全国）
 - 2022年 スクリーニング：296,340サンプル 本調査：3,703サンプル（全国）
 - 2021年 スクリーニング：304,193サンプル 本調査：3,758サンプル（全国）
 - 2020年 スクリーニング：285,384サンプル 本調査：3,758サンプル（全国）
 - 2019年 スクリーニング：244,336サンプル 本調査：3,764サンプル（全国）
- 調査実施機関 株式会社マクロミル

《調査結果を見る際の注意点》

- * %を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計値が「全体合計（100%）」や「小計」と一致しない場合がある
- * 数値回答は異常値（外れ値）回答者を除外して集計しているため、基数（n）が他の設問と異なる場合がある
- * レポート内の「首都圏」は東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県を指す

《有効回収サンプル数とウエイトバック集計》

- * 注文住宅動向調査の集計・分析のために、注文住宅建築者と注文住宅検討者それぞれについて、令和2年国勢調査から得られた人口と本件のスクリーニング調査から得られた注文住宅建築率と注文住宅検討率とを掛け合わせて、エリア（8区分）ごとの構成比を推計し、集計サンプルの構成比を一致させた

リクルートが企画・運営するSUUMOブランドの情報誌メディアのご紹介です。

SUUMOチャンネル (YouTube)

住宅購入を考えている方必見、
家づくりのノウハウを動画で紹介



HOUSING

大手住宅メーカーの情報が満載。
はじめての家づくりを応援します



SUUMO注文住宅

地元の住宅メーカー・工務店の
最新情報をお届けします



SUUMO注文住宅 東京で建てる
SUUMO注文住宅 千葉で建てる
SUUMO注文住宅 神奈川で建てる
SUUMO注文住宅 埼玉で建てる
SUUMO注文住宅 茨城で建てる
SUUMO注文住宅 群馬で建てる
SUUMO注文住宅 栃木で建てる
SUUMO注文住宅 大阪で建てる
SUUMO注文住宅 京都・滋賀で建てる
SUUMO注文住宅 兵庫で建てる
SUUMO注文住宅 東海で建てる
SUUMO注文住宅 北海道で建てる
SUUMO注文住宅 みやぎで建てる
SUUMO注文住宅 広島で建てる
SUUMO注文住宅 福岡・佐賀で建てる

SUUMO注文住宅 (フリーペーパー)

家づくりのアイデアやノウハウ、
スーモカウンターの無料講座などを紹介



北海道で家を建てる
東京で家を建てる
埼玉で家を建てる
千葉で家を建てる
神奈川で家を建てる
東海で家を建てる
大阪で家を建てる
兵庫で家を建てる
福岡で家を建てる

SUUMOリサーチセンターについて

SUUMOリサーチセンターは、SUUMOの調査研究機関として、住まいや暮らしについての調査、住まいの品質向上に向けた実証実験、テクノロジーの実態調査を行っています。業界に向けた提言や生活者に向けた発信によって、住まいの価値を高め、一人ひとりにその価値が届くまでの伴走・支援をしています。リクルート住宅総研としての創立以来、約20年にわたって培ってきた住まいの検討者と不動産事業者に関する深い現場知見と『SUUMO』という国内最大級メディア運営に基づくデータに依拠した、実現できる未来を発信していきます。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>